

南海トラフ巨大地震に対応した防潮堤の早期整備に向けた 支援について

東海部会提出
説明担当 磐田市

(理由)

国が公表した南海トラフ巨大地震の被害想定では、これまで東海地震で想定されていた津波高や浸水域をはるかに超える津波が発生すると予想されている。

いつ発生するかわからない巨大地震によって起こる津波に備えるため、早期に防潮堤を整備する必要がある。

沿岸部の自治体では、すでに防潮堤の整備を進めているところもあるが、財政的な問題や防潮堤用の盛土材の確保等の課題があり、自治体のみでは整備が進まない現状にある。

また、防潮堤の整備は、一部の区間を実施しても効果が薄く、太平洋沿岸の全域における総合的な整備が必要とされている。

については、国民の生命、財産を守るため、南海トラフ巨大地震に対応した防潮堤の早期整備に向け、国においては、財政支援を含む総合的な支援策を講じることを強く要望する。